

平成27年度 定例第2回理事会議事録メモ

期 日 平成27年12月12日(土) 10:30～
場 所 正田醤油スタジアム群馬 会議室

1 開 会 岩井副会長

2 あいさつ 中曽根会長

今年も良い成績が残せて、よい年であった。国体においても県全体の順位が落ちたが、陸上は上位で頑張っている。この後も長距離シーズンになるので、またみんなで頑張ってよい活動を続けて行きたい。

国立競技場について、オリンピックではサブトラックは仮設で行うことになっている。その後の常設のサブトラックの設置がないと、公認1種対応の大会は開けなくなってしまう。明治神宮、東京都の土地ではあるが、なんとかならないか、東京都知事に申し入れをしてきた。引き続き活動を続けて行きたい。群馬陸協としても一丸となって頑張っていたきたい。

3 出席確認 理事総数57名 出席38名、委任17名 計55名

4 報告事項

(1) 日本陸連・関東陸協・実業団連合関係(理事長)

(日本陸連関係) 全国連絡協議会が今年はなかったので、陸連からの報告は文書のみとなっている。強化委員会が改変になって、原田委員長が麻場委員長になった。関東陸協理事会後に、日本陸連執行部と話をする機会がある。3月には状況を報告できる。

(日本陸連強化委員会関係: 強化委員長) 世界陸上の成績が悪く、委員長の交代があった。日本陸連強化委員会の他に強化推進本部ができた。各都道府県の意見を吸い上げる意味もある。別添資料により、オリンピックに向けて大阪で年間5000万円の5年計画で強化事業を行うことが報告された。群馬でも昨年度から検討しているが、予算的な面からすすんでいない。国体では、群馬は大阪と総合得点争いをしている県であり、群馬としても頑張っていきたい。

(日本陸連普及委員会関係: 普及委員長) 指導育成について、コーチ、ジュニアコーチについて、更新が進んでいないので、更新するよう働きかけをしてほしい。平成29年度から、全国小学生クロスカントリー研修大会について、引率者に有資格者2名配置について義務づけになる。平成28年度から全国交流大会のソフトボール投げを廃止し、ニススポーツのボルテックスをつかったジャベリックボール投げとなる。

(関東陸協関係) 8月22日に茨城県で開催。来年度は、関東選手権: 千葉、関東高校: 東京、関東高校駅伝: 群馬、関東新人選抜: 埼玉、関東高校合宿: 群馬、関東中学選手権: 東京、関東中学駅伝: 山梨、関東中学合宿: 栃木で開催される。

インターハイで、女子の棒高跳、三段跳、ハンマー投が成績種目になる。来年度から、関東高校新人選抜で開催。

JTO受講者は栃木、山梨から各1名推薦。JRWJは栃木、茨城、神奈川から各1名が推薦される。

国体に出場する都県の県選手権にふるさと選手が出場すると、所属県の県選手権に出ないのでは、関東選手権に出場できない。これを次の関東陸協理事会で検討する。

(実業団連合関係) 9月に5者会議、11月に全体会議を行った。今年は記念大会であるので、6地域から各1チーム増えて、43チームの参加になる。高崎での混雑と、後半の中継所で繰上げスタートが考えられる。本日も群馬陸協NY全体会議があるので、そこでも確認したい。

(2) 各委員会報告事項

① 競技運営委員会 (競技運営委員会)

- ・S級審判員の申請について

今年度は、締切り期日が早くなった。本日締切ですので、ご承知おきください。

- ・競歩について、ピットレーンルールが導入される。競歩競技の開催を推進することになった。場内指令をマーシャルと呼ぶことになった。

② 強化委員会 (強化委員長)

- ・第70回国民体育大会について

天皇杯6位入賞できた。高校生の入賞が増えた。その選手たちを育てていきたい。

- ・東日本女子駅伝競走大会について

時期的に過密日程で行っている。選手選考に苦慮した関係もあり、11位であった。

③ 普及委員会

- ・全国小学生交流大会について

今年は7位に入賞者が2名でた。

- ・全国小学生クロカンリレー交流大会について

今年も、アラマキッズを推薦して、明日13日に開催される。

(3) 全日本実業団駅伝競走大会について

- ・県庁の事務局は、25日に準備をして、26日から事務所を開設する。

(4) 群馬県100Km駅伝競走大会について

- ・11月に代表者会議を行った。例年どおり行うことになった。

(5) 中体連・高体連

(中体連) 関東、全国、ジュニアオリンピック、関東駅伝の結果を報告する。関東中学では、女子の競技力の向上が課題になった。来年度の関東中学大会から、4種競技が正式種目となる。県中学からも予選を行う。

(高体連関係：高体連委員長) 関東高校選抜ご協力ありがとうございました。全国IH、関東高校駅伝の結果を報告する。12月20日全国高校駅伝が開催される。記念大会なので、50チームに増えて開催される。平成28年11月19日、関東高校駅伝が

伊勢崎市で開催される。ご協力をお願いします。関東高校合宿が今年来年と開催される。平成29年度の山形インターハイから、女子3種目が正式種目になる。2020年の全国インターハイは、開会式は群馬県で開催される。オリンピック、パラリンピックの開催日程の間で開催することになった。陸上競技は群馬では開催できなくなった。2020年の陸上競技は、愛媛が誘致している。

(6) その他

議長選出 中曽根会長 就任

5 協議事項

第1号 栄章並びに諸表彰について（総務委員長）

資料により説明 承認

第2号 平成28年度行事日程（競技日程）について（競技運営委員長）

資料により説明 承認

第3号 専門委員会提案事項

1) 総務委員会 平成28年群馬陸上競技年鑑について（総務委員長）

資料により説明。協賛趣意書については、後日理事へは5枚、クラブへは10枚郵送する。 承認

2) 強化委員会 都道府県対抗駅伝選手選考について（強化委員長）

男女とも監督が変わる。男子は、SUBARUの奥谷監督、女子は東洋大学の永井監督に代わる。各大会の結果を勘案して、選手選考を行った。 承認

3) その他

第4号 その他

（副会長）エスコートキッズについて、選考について、広い範囲からの選考が可能か？

（事務局）選手、チーム関係者に負担にならないような選考をしなければならないこと、保護者が常についていることはできないこと、

（会長）県民マラソンのスタート位置についてどのように決まったのか？

（事務局）コース設定により、決めたが、今後、一部コースが変わるので、その関係でまた検討していかなければならない。

（会長）県民マラソンのランナーからの反応はいかがか？

（事務局）ランナーストップで一部ランナーから審判がクレームを受けたと聞いている。他のクレームは聞いていない。

6 諸連絡

（群馬大学）幹部が交代しました。来年度もよろしくをお願いします。

7 閉会 海野副会長（県スポーツ協会理事）

国体では40競技行われている。総合成績で22位となったが、陸上は昨年に続き6位入賞した。群馬県内の競技団体の獲得得点は、一番多かった。

47都道府県で箱根駅伝については、群馬県選手の参加が多く、規模的にいっても健闘している。次回国体についても平成40年に誘致を行っているが、小学生が中心選手となるので、普及育成についても取り組んでいただきたい。